

## EV(電気自動車)導入は 住友三井オートサービスにお任せください

EVは、移動手段としてだけでなく、



# 災害時のBCP対策にも有効！！

令和2年6月15日付 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 事務連絡  
「社会福祉施設等における事業継続計画(BCP)策定について(依頼)」より抜粋

### <メリット1>

EVの蓄電池を  
停電時の電源  
として活用でき  
ます。



#### (2) 電気が止まった場合の対策 (記載例)

| 稼働させるべき設備                      | 自家発電機もしくは代替策   |
|--------------------------------|--|
| 医療機器・喀痰吸引・人工呼吸器など              | 自家発電機:<br>400Kw×8時間使用可能、燃料はガソリン。<br>※燃料はガソリン携行缶を持参してガソリンスタンド<br>で購入(身分証明書を持っていくこと)<br><br>乾電池: 災害用備蓄品として、単3・単4、各100本 |
| 情報機器 テレビ・インターネットなど             |  |
| 冷蔵庫・冷凍庫、夏場は暑さ対策としてアイスノン・氷のうの用意 |  |
| 照明器具、冷暖房器具                     |  |

(補足説明)

#### 【自家発電機が設置されていない場合】

- ・電気なしでも使える代替品(乾電池や手動で稼働するもの)の準備は業務の方策を検討。
- ・自動車のバッテリーや電気自動車の電源を活用することも有用である。

#### 【自家発電機が設置されている場合】

- ・自家発電機を稼働できるよう、予め自家発電機の設置場所・稼働方法を確認しておく。
- ・自家発電機のカバー時間・範囲を確認し、使用する設備を決めたうえで優先順位をつける

(例. 最優先: 医療機器・情報収集、優先: 照明・空調)

### <メリット2>

走行時にCO2を排出  
しません。環境にやさし  
いEVで脱炭素社会に  
貢献します。

### <メリット3>

電力を安い時間帯に充電・利用  
するなど、充放電を制御すること  
によりエネルギーの有効活用が  
可能になります。

# EV導入と災害時に備えた給電設備(例)

**災害時の電源確保：EV活用で3日間程度給電可能。**

## 1. 災害時の給電事例(リーフ40kWhモデル)

| 項目 | 機器           | 使用数 | 使用時間  | 消費電力  |         |
|----|--------------|-----|-------|-------|---------|
|    |              |     |       | 1台当たり | 合計      |
| 照明 | 屋内照明(40W蛍光灯) | 5本  | 5h    | 40W   | 1000Wh  |
| 業務 | ノートパソコン      | 2台  | 4h    | 50W   | 400Wh   |
| 通信 | 携帯電話充電       | 10台 | 2h    | 10W   | 200Wh   |
| 情報 | レーザープリンタ     | 1台  | 0.5h  | 500W  | 250Wh   |
| 情報 | 液晶テレビ        | 1台  | 4h    | 250W  | 1000Wh  |
| 空調 | エアコン(20畳)    | 1台  | 4h    | 1800W | 7200Wh  |
| 食事 | 電気ポット        | 1台  | 1h    | 1200W | 1200Wh  |
| 合計 |              |     | 1日当たり |       | 11250Wh |

※あくまでも目安であり、接続機器により消費電力量は異なります。

※電力の安定供給を必要とする医療機器には対応できません。

※バッテリーは容量40kWhですが、10%の電力は残す設定のため給電可能な電力量は最大で90%(約36kWh)です。

※給電量設定、接続機器の力率、変換効率やシステム消費電力等により、給電電力量は変動します。

= 11.25kWh



**3日間で  
約34kWh**

## 2. 「メンテナンスリース」によるEV導入



○メンテナンスリースは、車両代・税金・保険・点検整備・事故処理など、車両使用に係る各種手配 & 必要費用を全てパッケージ化したアウトソーシングサービスです。

○住友三井オートサービスが、EVの補助金等を反映させて、月々のリース料をお見積りいたします。

## 3. EVから給電する際に必要な設備(例)

| <事例①>                                      | ニチコン パワームーバー   | 【メリット】   | 【デメリット】   |
|--|--|--|---|
| <p><b>可搬型給電器</b><br/>(持ち運び可能)</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格 72万円</li> <li>・出力 4.5kW</li> <li>・コンセント100V×3口<br/>(各1500W)</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に野外や出先での電力供給が可能。</li> <li>・設置工事不要。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・EVへの充電機能なし。<br/>(EV充電設備工事は別途必要)</li> <li>・建物への給電は不可。</li> </ul>                 |
| <p>&lt;事例②&gt;</p> <p><b>充放電器(据付型)</b></p> | <p>ニチコン パワーステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格(含工事費) 約100万円</li> <li>・出力 6kW(プレミアムモデル)</li> <li>・ケーブル7.5m</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・EVへの充電が可能。</li> <li>・建物への給電が可能。</li> <li>・太陽光発電やエネルギーマネジメントに利用可能。</li> <li>・蓄電池に比べ安価。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に野外や出先で電気供給は不可。</li> <li>・充放電器の設備工事が必要。</li> <li>・工事費用は設置要件毎に異なる。</li> </ul> |

【注】上記設備については、ご希望に応じて取扱会社をご紹介します。